



田島小だより

No. 8

「大好きな○○！」→やる気

「地響きのようなすごい歓声の中、がんばることができました。」これは、世界陸上に参加したある選手の感想です。34年ぶりの東京での開催で盛り上がりましたね。

その大会で競技を終了した選手の表情は「満面の笑顔！」「くやしさいっぱいで、涙！」「疲労困憊で目もうつろ」様々でした。でも一様に「やり遂げた」達成感、満足感は感じられました。悔しさいっぱいの選手は、それをバネにしていく前向きな姿も見ることができました。



<朝の小体連リレーの練習>



「大好きな(種目)のため！」は、やる気(モチベーション)につながるのですね。

でも、それまでには「つらいな。」「やめたいな。」と思ったことも多かったと思います。そのとき支えてくれたのが「家族だ。」「その家族のためにがんばる！」と話している選手もいました。

「大好きな家族のため！」→やる気(モチベーション)となるのですね。

家族と同じくらい出たのがコーチや監督などの「指導者」の支えです。

「大好きな指導者のため！」→やる気(モチベーション)が同じようにいえる
ようです。



このことは「学習」でもいえると思います。

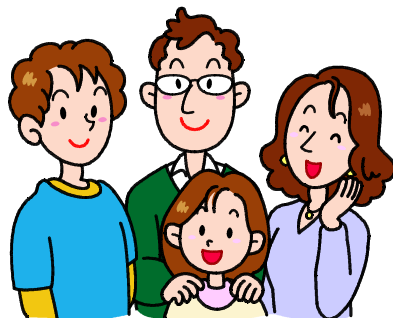
この「やる気(モチベーション)」は、IQなど数値で測定等ができない「非認知能力」の一つです。**学習を成立させる上でこの「やる気(モチベーション)」はとても重要です。**テストでつまづいたときに、空欄で出すのではなく、できるだけ記述して答えようとする子。その子のやる気の下支えとして「家族・指導者との関係(大好き)」が見え隠れします。

「大好きな家族！」の(微笑み・励まし・称賛...)は、やる気(モチベーション)を持たせる。

「大好きな担任！」の(微笑み・励まし・称賛...)は、やる気(モチベーション)につながる。

これらの積み重ねと成果が合わさって、多くの子供たちは「**大好きな(教科)！**」になっていくと考えます。(好きなことへの「やる気」は、自然と高まっていきます。)

学力を高めることが学校の目指すねらいの一つですが、その実現のためには、問題への取り組み方や指導者の教え方など、**技術(スキル)的な面だけではなく、この人間味あふれた3つの「大好き」を大切にしていきたいと考えています。**特に学校では「大好きな担任」となるよう、子供たちとの関係づくりに取り組んでいます。家庭でも、ぜひ学力の向上のために「大好きな家族ために」の関係づくりをお願いします。



11月の行事予定

<p>3 (月) 文化の日</p> <p>5 (水) 運動委員会より (T) クラブ活動</p> <p>7 (金) 四校連絡協議会 ※ 全学年4校時</p> <p>10 (月) 教育相談週間 ～14日 ※ なわとび集会 (変更の可能性あり)</p>	<p>17 (月) 職員会議</p> <p>18 (火) 調理実習 (5年)</p> <p>19 (水) 人権教育 (2年) Q-Uテスト ～28日</p> <p>21 (金) 要請訪問 ※ 6年生のみ5校時</p> <p>○ 10月から金曜日のTタイムにて「すこやか教室」を実施予定。(月1程度)</p>
--	---



「学校評価アンケート」から

例年実施しています「学校評価アンケート」において多くのご意見ありがとうございました。回答については、これも例年どおり学校だよりにて行います。ご理解の程よろしくお願い致します。

- 安心安全の場の確保がなされていないことに憤りを感じる。学習環境が不安。
→学校運営ビジョンにおいて「学校は安心安全な場とする」と掲げ、学校経営してきました。保護者の皆様からその実現がなされていないとの指摘、大変申し訳ありません。本年度は、学校管理下においては、前庭の樹木の伐採等を行いました。その他、生徒指導面においては関係機関の協力の下、**田島小の児童182名全児童の学校生活(学習・生活)が充実したものとなるよう努めてきました**。今後は、より具体的な内容をご指摘いただき、解決に向け、学校だけでは難しい場合は、関係機関並びに保護者の皆様のご理解とご協力を得て、対応していきたいと考えています。
 - 上履きを毎週持って帰る必要があるのか。手荷物を持つての登下校がかわいそう。
→持ち帰りについて
 - ・子供たちの運動量は非常に多く汗をかくなど、**衛生面から**みて週1回の洗浄をお願いしたいです。
 - ・持ち帰った際の家庭での対応はどのようになっているのでしょうか。上履きも学用品の一つです。翌日の準備として鉛筆を削り、筆入れに入れ、ランドセルに入れることは、毎日子供たちが行っていると思います。同様に学年の実態によりますが、**自分で上履きを洗い乾かし、登校の準備を整わせる。この一連の行動に意義がある**と考えます。また、物を大切にすることを育てる機会ともしていただければ幸いです。
 - ・成長が早い時期です。サイズを見取る機会にもなれると思います(1週間で小さくなることはないと思いますが)。学用品一般でも同じことがいえますが、汚れ具合を見て、学校生活の状況を見取る機会ともなると思います。
- 登下校について
- ・低学年にとっては大変さがあろうかと思いますが。他校と比べることはできるだけ控えたいですが、本校は運動着での登校となっています。私服登校の学校にあつては、運動着を持つての登校が通常となっています。
 - ・**「かわいそう」の基準をどこにおくかも共通理解を図りたい**です。持たせることがかわいそうともいえませんが、自分のことを自分でできるような環境設定をしてあげないことが子供

の将来を考慮した場合は「かわいそう」と。発達の段階にもよりますが、学校としては後者をもとに多くの教育活動に取り組むようにしています。(給食の配膳・清掃・校外学習・・・)

※ 上履きの廃止について、都会にあっては下足入れを設置するスペースがないため上履きを廃止しているところもあります。しかしながら、冬場の登下校など地域性を考えた場合、本校、本域内では大変難しいと考えます。

● 転入生が入り、2クラスになることを期待していましたが。

→クラスについては全国で同一の基準で編制されています。2クラスになるには、36名の児童数が必要となります(特支学級9名)。ただ、福島県は少人数教育としてその基準を若干下げています。しかしながら、本校にあっては該当していません。少子化の課題はここにもでているのですね。

● 給食の麺類のスープを残さない指導をしているようですが、家庭では塩分過多になるので残すよう指導しています。飲み干す必要があるのでしょうか。

→給食は献立全体で塩分量を調整しています。汁に入る塩分については、副菜関係等の献立等で調整しています。学校で行っている飲み干すという行為自体をどこでも行っていいわけではないので、家庭においてこのことを念頭にご指導ください。

また、「必要性」については、残さいを減らすことやスープ等を処理することに伴う環境問題関係をもとに指導等行っています。(環境問題は発達の段階の考慮が必要かと)

● マラソン記録会について

・今の方法は運動が苦手な子供にとってがんばる意欲につながるのではないかと考えています。1回目と2回目の伸びについて称賛する機会を設けていただきたい。

→本校のマラソン記録会のねらいについては、昨年度の学校だよりに記してありますので、新入生や転入生の保護者の方はご確認ください(HPに掲載)。そのねらいの一つが今回のご意見にある誰もが意欲を持って取り組めるようにすることです。称賛の方法については今後検討していきます。

・地元の皆さんが楽しみにしているので・・・

→ねらいについては、先に記した内容をご確認ください。学校の活動はまずは「子供たちのため」を基本にして考えています。地域の方の願いと子供たちのための取組に差がある場合は「子供たちのため」を優先していきたいと考えています。

● 子供たちからの挨拶が少ない。

→学校では集団生活における挨拶の意義について指導しています。地域の方々への気持ちよい挨拶は大切です。生徒指導を中心に意義について再度指導させていただきます。あわせて、挨拶の大切さは家庭教育の柱でもあります。各家庭での指導、よろしくお願いします。

○ 検定テスト。複数回向き合う形に変更した点自分のつまずきに気づく形でとてもよいと思います。

○ 給食で出たゴボウ。子供が「ゴボウのおいしさが改めてわかった。」と話してくれました。

○ いつも安心して教育をお任せできるのは愛情を持って接してくださる先生方のおかげです。いつもありがとうございます。

○ 職員の方々が一生懸命で本当によい学校だと思います。信じて子供を送り出せます。

○ 先生方の働き方改革、これからも応援しています。保護者が気づかないようながんばりをどんどん発信してください。

→ありがとうございます。これを励みにがんばります。